



夏を思わせる積乱雲とおーろら号



神秘的な神の子池



北天の丘 あはしり湖鶴雅リゾートで



北の島々に眠る…北方領土碑

つよつよさんのお楽しみ日記73

「家族で北海道の旅」の巻

我が家では長男に小学校六年生の時「お父さん紺屋の白袴知つとる」と言われビックリしてハワイ旅行に連れて行ったことはありませんが、忙しさに紛れて(?)ほとんど家族旅行をしていませんでした。

町長退任後は償いを兼ねて毎年旅行に出かけています。今年は、知床へも一度行ってみたいと言う妻の要望で北海道に行ってきました。

松山から羽田経由で釧路へ、ここからはレンタカーでまずは、釧路湿原へ木造りの階段や木道を通って自然を満喫しました、幸い心配していた膝の調子も良く五千歩近く散策後、養老牛温泉へ、皆さんもご存知無いと思います。私が私も初めてでした。人里離れた山間の温泉郷で旅館は三軒しかありません。野鳥が飛び溪流のせせらぎと露天風呂、地元の食材を使った料理に大満足でした。ビックリしたのはオーナーが松商野球部の村上捕手(私より十年位後輩らしい)と友人で松山へ遊びに行ったこともあるとお話でした。

翌日は裏摩周湖展望台、摩周湖の地下水によって出来たといわれる青い湧水を湛えた神の子池、そして全長二六km釣り針のような形の野付半島へ国後島まではわずか一六kmです。砂が波によって堆積した細長い半島で一番細いところはわずか五十mで全域が原生花園となっていますが残念ながら花には少し早かったようです。

羅臼から知床峠を通ってウトロで宿泊。翌日は知床観光光船「おーろら号」で海からゆっくりと観光、午後からは知床五湖などを高架木道や散歩道を使って存分にたのしんだ後、最後の宿泊地網走湖畔へ今回はゆっくりとしたコースで家族の絆を深めることが出来ました。

皆さんも家族旅行にお出かけになりませんか。

その時はぜひ日本交通社で！



中村剛志